

令和5年度 第2回日本遺産「桑都物語」推進協議会 総会

令和5年12月20日（水）15:30～16:30 議会棟第3・第4委員会室

出席人数 22名

※特記のない限り、本会の名称は「協議会」と表記する。

開会前挨拶

【事務局】

- ・本日、事務局長の秋山が進行を務めさせていただく。
- ・協議会名誉会長、石森市長より挨拶申し上げる。

【名誉会長】

- ・御多用の中、令和5年度第2回協議会総会に御出席いただき感謝する。
- ・市長任期もあと1か月余りとなり、協議会総会に市長として最後の出席となる。
- ・皆様におかれましては、これまで多大な御支援をいただきお礼申し上げます。
- ・本協議会の部会委員であった八王子織物工業組合黒澤真一副理事長が、若くして御逝去されたこと心から御冥福をお祈り申し上げます。
- ・先月開催された日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子が、皆様の御協力のもと成功裏に終わることができた。
- ・これまで日本遺産の認知度が低かったが、このイベントを通じて多くの方に知っていただけたのではないかと感じている。
- ・今後も日本遺産を活用したまちづくりをしっかりと進めて行くので、引き続き皆様の御支援・御協力を賜りたい。

【事務局】

- ・協議会規約の規定による任期期間の満了に伴う委員の選出について、御協力いただき感謝する。

総会開会

【事務局】

- ・総会の議事進行を会長にお願いする。

【会長】

- ・お忙しい中、参集いただき感謝する。

総会の成立について

【会長】

- ・委員の出席について、八王子商工会議所の榎崎副会長、八王子市学園都市文化ふれあい財団の村松委員、八王子青年会議所の佐藤委員、多摩信用金庫の石原委員、京王電鉄(株)の長谷川委員が欠席だが、代理出席をいただいております、現時点で22名の出席。過半数となるので、本会は有効に成立する。
- ・本会議は記録のため録音し、無記名の要点記録を後日公表することを御了承願う。

議事

【会長】

- ・次第のとおり本会では報告事項5件、協議事項1件。

報告事項(1) 令和5年度日本遺産推進事業の進捗について

【会長】

- ・報告事項(1) 令和5年度日本遺産推進事業の進捗について事務局から説明願う。

【事務局】

(報告事項(1) 令和5年度日本遺産推進事業の進捗について)

- ・令和5年度は、年度当初より、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」に対する取り組みに注力してきた。
- ・この経験を今後につなげていきたい。

① 普及啓発事業

- ・「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」のメイン会場である東京たま未来メッセには、40,000人の来場者があった。
- ・市内外より訪れた多くの来場者に「日本遺産」「桑都物語」「桑都・八王子」のPRをすることができた。
- ・11月3日(金・祝)、「桑都テラス」で、フェスティバルの前夜祭にあたる宵宮を開催。「八王子車人形」や「八王子芸妓」の演目を披露し、全国から訪れた関係者に、八王子の伝統芸能を楽しんでもらった。
- ・11月4・5日(土・日)は、「伝承のたまてばこ」のプログラムが実施され、「八王子車人形」の三番叟やお囃子などが披露された。
- ・「はちはく」では、フェスティバルの開催期間中の企画展「桑都はちおうじ絵巻」で、芸員による展示解説を実施。
- ・「はちはく」「まちなか休憩所八王子宿」「東京たま未来メッセ」を結ぶスタンプラリーを行い、JR八王子駅・京王八王子駅周辺施設の回遊性を高めた。

- ・八王子「桑都物語」日本遺産ウォークについて、11月25日（土）「山田の広園寺と、松姫ゆかりの御所水の伝説古道」と題し、歴史古道研究家の宮田太郎さんの案内により実施。応募43名、抽選で25名の参加者となった。令和6年1月20日（土）には、「八王子片倉城址から古代遺跡ロマンのみなみ野を歩く」を実施する予定。
- ・11月18・19日（土・日）開催のいちょう祭りにおいて、日本遺産PR部の「武者所」によるパフォーマンスの披露と、来場者に対して日本遺産グッズの販売、各種プロモーション資材の配布を行ったほか、「武者所」と連携し、広く日本遺産の普及啓発を行うことができた。

② 調査研究事業

- ・11月5日（日）実施のエクスカージョンツアーにおいて、日本遺産の今後の活用についての検討材料とするためのアンケート調査を実施し、ツアーの評価、訪問先やアクティビティに対する感想などを収集。アンケート結果について、3コースとも概ね高評価。特別感を持った人、期待以上といった声が多くあった。

③ 情報コンテンツ作成事業

- ・構成文化財「小泉家屋敷」の説明看板を設置。
- ・「諏訪神社（鎗水）の文化財」が7月14日付で文化庁から追加認定されたことを受け、現在、案内看板等の製作・設置を進めている。
- ・「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」をより効果的にPRするとともに、最新情報をタイムリーに発信するため、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の特設ページを開設。

④ その他事業

- ・日本遺産フェスティバル本体事業に加え、会場周辺で開催するイベントについての企画・運営に関する支援業務を委託。
 - ・令和3年度に観光PR特使のチャーリー磯崎氏が作成し、本協議会が管理運営するウェブサイトにて公開しているサイクリングマップをリニューアルし、紙媒体として制作。
 - ・サイクリングを通じた日本遺産のプロモーションを展開した。
- （事務局説明以上）

【会長】

- ・事務局からの報告について質問・意見はあるか。

（質疑なし）

【会長】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行し、特に秋以降はイベントの実施が盛んとなり、市内にも賑わいが戻ってきた。

- ・「桑都テラス」や「東京たま未来メッセ」もオープン1周年となり、活気づいている。
- ・今後もこの勢いが続くよう取り組んで欲しい。
- ・報告事項(2)「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」について、事務局から報告願う。

【事務局】

(報告事項(2)「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」について)

- ・11月3日(金・祝)の桑都テラスの宵宮を皮切りに、5日(日)までの3日間、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」を開催。
- ・東日本では初めての開催。
- ・全国104の日本遺産認定団体のうち、過去最高の94の認定団体が集まった。
- ・テーマは「桑都・八王子から、104の物語(ストーリー)を未来へ」。
- ・関係者だけでなく、市民や来訪者も当事者として楽しむことができ、民間事業者や教育機関等の参画を促す機会となるよう、イベントの名称を「サミット」ではなく「フェスティバル」とした。
- ・同時期に開催する市内のイベントを同日開催とするなど、各イベント主催者と連携して中心市街地を盛り上げ、日本遺産フェスティバルを中心とした魅力発信を行うことで、日本遺産のさらなる普及啓発を図ることを目的に取り組んだ。
- ・来場者数は、メイン会場の東京たま未来メッセでは2日間で延べ40,000人、全体では11万人を超えた。
- ・アイロードで実施した街頭アンケートから、市内からは8割、市外からは2割の方にお越しいただいた。
- ・八王子MICEガイドでは、市内の宿泊施設の客室数は約1,800とあるが、本イベントの受託事業者からは、どこも満室だったと聞いている。
- ・認定団体を対象としたアンケートからも、回答のあった74団体のうち約9割の66団体290人が八王子市内に宿泊したとの回答あり。
- ・市外は町田市や相模原市に宿泊。
- ・集客要素として、桑都ペイのポイント付与数は、2日間で37,466件(8割が市内の方)、支払いについては、認定団体19ブースで589,020円、開催市6ブース(桑都ブース)で862,421円となった。

① 周知関係

- ・JR八王子駅北口のマルベリーブリッジに横断幕を約50枚掲出。
- ・JR八王子駅北口エレベーター、階段やバス停前にステッカー・フラッグを掲出。
- ・JR八王子駅南口には、とちの木デッキに横断幕・フラッグを掲出。
- ・西放射線ユーロード、れんが通り、富士見通り、東放射線アイロードに約100枚のフラッグを設置。

- ・ JR 西八王子駅に横断幕を掲出。
- ・ 京王八王子駅に懸垂幕設置。
- ・ JR 八王子駅の自由通路にポスターを掲示。
- ・ 公用車約 70 台に PR 素材を貼付。
- ・ 町会自治会等へポスターの掲示を依頼。

② プログラム

(前夜祭 [宵宮])

- ・ 11 月 3 日 (金・祝) 17:30 から桑都テラスにて実施。
- ・ 八王子祭囃子連合会、八王子芸妓、八王子車人形の演舞を披露。
- ・ 延べ 42 の認定団体が参加。

(オープニング)

- ・ J:COM ホールのロビーで来場者をお囃子で迎えた。
- ・ 観光 PR 特使の富永裕輔さんの歌唱から始まり、PR 動画、八王子芸妓の舞、大本山高尾山薬王院の山伏の‘ほらがい’の音色で開会。
- ・ 石森市長の式辞、多摩美術大学の理事長であり、元文化庁長官の青柳正規氏の基調講演、観光未来プランナーの丁野朗氏をコーディネーターに迎え、大本山高尾山薬王院佐藤秀仁貫首、八王子車人形西川古柳家元、八王子芸妓のめぐみさんをパネラーにパネルディスカッションが行われた。
- ・ 八王子車人形および説経浄瑠璃の記念公演など実施し、来場者は 1,000 人となった。
- ・ オープニングの様子は、メイン会場である東京たま未来メッセにライブ配信した。

(メイン会場)

- ・ 日本遺産 PR ブースや体験ブースについては、地域性やテーマ性を意識したブース配置とした。
- ・ ブースでは、日本遺産にちなんだ名産品などの販売や体験コーナーなどが並び、全国各地の日本遺産を体感することができた。
- ・ 八王子のブースでは、その場で揮毫した御城印を販売。大盛況。
- ・ 桑都ブースにおいては、事業者の皆様に御出店をいただき、桑都八王子を広く PR していただいた。
- ・ 日本遺産公開講座参加認定団体は 25。
- ・ 八王子市においては、小中学校における取り組みを学校教育部の協力により、担当者が発表を行った。
- ・ 一昨年の「小松サミット」から始まった分科会を継承し、染織文化、山岳信仰・修験の文化、食文化の 3 つをテーマとして議論を深め、最後に総括討論で幕を閉じた。
- ・ 今年度、文化庁の日本遺産魅力増進事業「藍のふるさと阿波魅力増進事業」の一環で、群馬の絹糸、徳島の藍、山形の紅、八王子の織物が連携した日本遺産ブランド商品の開発を進めた。この延長で、令和 6 年 1 月 13 日 (土) ~ 19 日 (金) 京都国際交流会館にて行わ

れる、日本遺産地域連携展示「～日本の彩と織～」に参加する。

- ・ JR 八王子駅南口の「とちの木デッキ」から「えきまえテラス」にかけて、八王子消防記念会、八王子芸妓衆、高尾山薬王院、氷川神社の獅子舞の皆様など、日本遺産の構成文化財関係者が練り歩いた。
- ・ 「えきまえテラス」では、高尾山薬王院の佐藤貫首による「紫燈護摩」が行われた。
- ・ アイロードでは、初めて交通規制をかけて歩行者天国とし、山車と居囃子で沿道を盛り上げつつ、露店やキッチンカーを出店して、お祭りさながらの雰囲気を出した。
- ・ 八王子織物工業組合の皆様による織物展やネクタイデザインコンペを実施。
- ・ 八王子市子ども家庭部による子ども☆ミライ会議を実施。
- ・ JR 八王子駅北口のユーロードでは「伝承のたまてばこ」を実施。
- ・ 八王子学園都市センターでは、相原委員にも登壇していただいた「いちょう塾」の公開講座を実施。
- ・ スカイバスで高尾山や八王子城跡などを巡るエクスカーションツアーを実施し、3コースで51名の方に参加していただいた。
- ・ 高尾山では桑都にちなんだ精進料理の提供、滝山城跡では地元の皆様による豚汁、京王プラザホテル八王子での情報交換会、飲食店のけいの家、パンのマゴメさんでは、桑都にちなんだメニュー、高尾登山電鉄株式会社、京王SCや郵便局でも割引サービスや桑都にちなんだ商品を提供していただいた。
- ・ 「えきまえテラス」では、マンホール拓、バルーンアート実演、桑都あげパン販売が行われた。
- ・ 日本遺産応援 LIVE には3,000人が集まり、ゆるキャラも登場し、親子で楽しんでもらった。
- ・ 非常にたくさんの方々に御協力をいただき、改めて深く感謝する。
- ・ 日本遺産の認知度が高まったものとする。
- ・ 今後、「桑都」というブランディングを推し進め、地域の活性化に繋げて行く。
- ・ 認定地域が相互に連携して、これまで以上に日本遺産という「ブランド」を強化していく取り組みが不可欠と考える。

(事務局説明以上)

【会長】

- ・ 事務局からの日本遺産フェスティバルについて質問・意見等あれば発言を願う。

【委員】

- ・ 11月4日(土)・5日(日)アイロードでは、山車の展示、囃子の演奏が行われ、八王子市以外の来客も見受けられた。
- ・ 八王子の伝統芸能を内外に知らしめて、非常に効果があったのではないかと思います。

- ・八王子まつりと違った新しい八王子駅周辺の会場の有り方を示唆したものでないかと感じた。

【委員】

- ・八王子の街をすごいと感じた。
- ・フェスティバルを山車、囃子等で盛り上げていただいたが、威厳を保ちつつも、日本人が忘れかけていた情緒・奥ゆかしさをお客様に感じていただいた大切な行事であったと思う。
- ・令和2年の日本遺産認定後、講演が激増（約50回）している。その都度、八王子の魅力を発信してきた。
- ・護摩焚き後においても、日本遺産の発信を行っているが、今後もPR活動を継続して行きたい。

【委員】

- ・東京たま未来メッセの1階と3階に出店した。
- ・来場者が多く、織物の宣伝ができた。

【会長】

- ・日本遺産フェスティバルを一過性のイベントとして捉えるのではなく、今後も引き続き、桑都・八王子の伝統文化に触れる機会を創出し、地域の活性化や郷土愛の醸成に繋がってきたい。
- ・報告事項(3)「日本遺産の日」のイベントについて、事務局から報告願う。

【事務局】

(報告事項(3)「日本遺産の日」のイベントについて)

- ・2月10日(土)～2月12日(月・祝)にかけて文化庁主催の日本遺産の日関連イベントに参加する予定。
 - ・日本遺産マルシェにおいては、PRとともに物販を行う予定。
 - ・「日本遺産の日」記念シンポジウムにも参加予定。
 - ・自由民主党政務調査会が事務局を務める「第6回日本遺産推進フォーラム」(2月9日開催予定)にて、「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催報告を行う予定。
- (事務局説明以上)

【会長】

- ・「日本遺産の日」のイベントについて、御質問・御意見はあるか。

(質疑なし)

【会長】

- ・本イベントを活用して、引き続き PR を期待。
- ・報告事項(4)「日本遺産連盟令和5年度総会」について、事務局より報告願う。

【事務局】

(報告事項(4)「日本遺産連盟令和5年度総会」について)

- ・11月4日(土)17時30分から京王プラザホテル八王子にて「日本遺産連盟令和5年度総会」を開催。
- ・今年度、規約により八王子市が会長。
- ・来年度の会長が、福島県会津若松市の極上の会津プロジェクト協議会になること、あわせて、令和6年10月26日(土)～27日(日)に「日本遺産フェスティバル in 極上の会津」の開催が決定。
- ・八王子市は、来年度、日本遺産連盟の監事となる。

(事務局説明以上)

【会長】

- ・「日本遺産連盟令和5年度総会」について、御質問・御意見があれば発言を願う。

(質疑なし)

【会長】

- ・報告事項(5)日本遺産総括評価・継続審査について、事務局から報告願う。

【事務局】

(報告事項(5)日本遺産総括評価・継続審査について)

- ・日本遺産認定後6年間の取り組みのあと、認定団体は、総括評価・継続審査を受けることとなる。
- ・今年度は、平成29年度に認定された17団体が対象となっており、そのうち2件が再審査となっている。
- ・他の地域のモデルとなる「重点支援地域」に2件が選定。
- ・日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備とそれに必要な取り組みの実施が評価に繋がっている。
- ・八王子市は、令和8年度に審査の対象となっている。

(事務局説明以上)

【会長】

- ・日本遺産総括評価・継続審査について、本推進協議会が一体となって取り組んでいけるよう委員の皆様にお願ひする。
- ・質問・意見等あれば発言願う。

(質疑なし)

【会長】

- ・協議事項(1)「令和6年度事業計画(案)」について、事務局より報告願う。

【事務局】

(協議事項(1)「令和6年度事業計画(案)」について)

- ・日本遺産の推進事業について、申請時に文化庁に示した「地域活性化計画」に基づき、認定後3年間は国の補助金を活用し事業を進めてきた。
- ・令和5年度より、市の財源を充当して事業を進めている。
- ・令和5年度は、「日本遺産フェスティバル」の開催があったため、一定の経費は確保できたが、今後、事業を持続的継続的に行っていくために、財源の確保についても工夫が必要と考える。
- ・予算規模については、現在要求中の額を掲載し、決定した額ではない。

(事務局説明以上)

【会長】

- ・次回の総会では、予算案として議案にし、協議会へお諮りしたいと考えている。
- ・質疑・意見はあれば発言願う。

(質疑なし)

【会長】

- ・以上で議事は終了する。
- ・事務局からあれば発言願う。

【事務局】

- ・本市日本遺産構成文化財に深い関わりのある宮大工棟梁の株式会社吉匠建築工芸代表取締役吉川輔良様が今年度の文化庁長官表彰の対象となり、文化庁にて表彰を受けられた。
- ・吉川棟梁は、高尾山薬王院の建造物の建築・修理など様々な寺社建築に腕を振るわれている。小町棟梁とともに研鑽を積んでこられた。

- ・本市の日本遺産構成文化財関連であれば、八幡上町や八木町など計 8 台の市指定文化財の山車の修理、八王子神社の覆屋の建築に携わっている。
- ・今回の受賞の功績の概要は、永年にわたり、宮大工として関東圏を中心とした国宝・重要文化財建造物の保存修理に数多く携わっている。また、会社を設立し棟梁として後進の育成にも努め、選定保存技術保存団体の理事にも就任して、我が国の文化財保護に多大な貢献をしている。
- ・下恩方町の西川古柳座にて、毎月数回開催されている稽古場での西川柳玉さんによる車人形の定期公演が、直近では明日 12 月 21 日開催。お越しいただければ。

【会長】

- ・フェスティバルでも教育関連の取り組みが数多くあった。副会長の安間教育長に一言願う。

【副会長】

- ・形のあるものを保存・活用して行くことは、大切なことであるが、形のないもの目に見えないもの文化・風土も八王子の遺産であり継承して行くものであると感じている。
- ・子ども☆ミライ会議において、子どもたちから市長と私に政策提案を受けた。
- ・図書館に日本遺産コーナーがないのでつくって欲しいとの提案があった。即座に 9 つの図書館に日本遺産コーナーを設けた。
- ・これからも、次世代を担う子どもたちに日本遺産が引き継がれて行くよう尽力していく。

【会長】

- ・日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子では、開会からお練り、紫燈護摩まで、大きな重責を担った佐藤秀仁貫首に一言願う。

【委員】

- ・紫燈護摩実施にあたり、多くの来場者が近くまで寄れるようにしていただきありがたく思っている。
- ・厳かなお練りに参加させていただき感謝している。

【会長】

- ・他にないようであれば、これにて、令和 5 年度第 2 回日本遺産「桑都物語」推進協議会総会を閉会する。

閉会